

地区別説明会（恵庭地区・漁川右岸）

第5期恵庭市総合計画について

日時 平成27年9月3日（木） 18:30～19:40
会場 恵庭市民会館 大会議室
参加人数 14名

1. 開 会
2. あいさつ
3. 第5期恵庭市総合計画について
4. 質疑応答

（市民） 人口減少に伴って市民税等の税収が減ることは確実。税金が高く取られてしまうのではないか。料金を上げることも考えているのか。

（事務局） 効率的な行政運営に努めたい。税金を高くすることは最後の手段だと考えている。

（市民） 第4期総合計画と第5期総合計画の違いはどこか。また、審議会を行っていると思うが、第4期の反省点は意見として出てきたのか。

（事務局） 10年前の第4期総合計画をつくる際には、人口減少問題は出ていなかった。人口増加が見込めない中で初めてつくる計画ということが大きな違い。

審議会で反省点等の意見は特になかった。

(市民) 今回の説明会は経緯の説明のようだが、具体的な意見等は言っているのか。

(事務局) 説明会の時間や資料を考えると、細かな説明はできていない。

細かな内容については9月1日から1ヶ月間、支所・出張所等でパブリックコメントを実施している。そこで意見を出していただきたい。

(市民) 第5期の総合計画の一番の課題は、今後10年間でいかに人口を増やすこと、減らさないことだと思うが、今後の恵庭市の人口を想定しているのか。

(事務局) 今日の説明会では資料として出していないが、恵庭市総合戦略と恵庭市人口ビジョンを作成して、将来を見据えた計画を練っている最中である。

日本の高度経済成長時代の人口は8000万人程度だったが、今との決定的な違いは生産人口が減少していること。恵庭への移住・定住で人口を維持していくことも考えている。

(市民) 恵庭駅、恵み野駅、島松駅の3駅を中心としたコンパクトシティを目指したまちづくりは、第5期総合計画でも行なうのか。

(事務局) 続けていく考えである。恵み野里美など、恵み野駅西口の周辺を開発した効果は確実に出ている。すでに恵み野里美の区画は8割から9割が埋まっている。恵庭市の人口が6万9000人を久々に超えたことも市外からの移住が進んでいる表れである。

(市民) 国の研究機関を誘致、指導する動きが見えないが、何か考えはあるのか。

(事務局) 恵庭市からは要望を出したが、厳しい状況のようである。国の動きも不透明で実現は難しいと考えている。

5. 閉 会